

議 事

(1) 岡山県スポーツ推進計画の変更について P 1

(2) 岡山県スポーツ推進計画の進捗状況（2020 年度実績）について

○評価方法、基本施策別の評価結果 P 2

○基本施策別評価シート P 4

・基本施策Ⅰ ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進 P 4

・基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築 . . . P 18

・基本施策Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現 P 24

・基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備 P 31

(1) 岡山県スポーツ推進計画(改訂版)の変更について

岡山県スポーツ推進計画(改訂版)を策定する際に、「新晴れの国おかやま生き生きプラン(H29～R2)」の指標に合わせて設定されていた一部の目標値について、「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン(R3～R6)」が策定されたことに伴い、改めて目標値を設定する。

また、オリ・パラ開催年度に合わせていた目標年度は、開催延期に合わせて目標年度も1年延伸する。

1 変更(案)

計 画 体 系	項 目	目標値	変更(案)
基本施策Ⅰ ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進			
3 成年期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合 【スポーツ庁「体力・運動能力調査」】	52.0% (R2年度) (現況値) 50.4% (H30) 48.5% (R1)	目標値は据え置き、目標年度を延伸する。 52% (R4年度) 参考：生き生き指標 55% (R6年度)
基本施策Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現			
1 スポーツ参加人口の拡大	「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合 【県民満足度調査】	38.0% (R2年度) (現況値) 40.4% (R1) 28% (R2)	目標値は据え置き、目標年度を延伸する。 38% (R4年度) 参考：生き生き指標 削除
3 東京オリンピック・パラリンピック等の開催を契機とした地域活性化	東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数	2,000件 (29～R2年度) (現況値) 1,173件 (～R2)	目標値は据え置き、目標年度を延伸する。 2,000件 (29～R3年度) 参考：生き生き指標 削除

2 変更方法

軽微な変更であるため、パブリックコメントは実施せず、審議会による承認後にHPで公表する。

<参考：岡山県スポーツ推進計画の沿革>

計 画 名 称	計 画 期 間	備 考
岡山県スポーツ振興基本計画	H16年度～H25年度	
岡山県スポーツ推進計画	H25年度～R4年度	国のスポーツ基本計画を受け策定
岡山県スポーツ推進計画(改訂版)	H30年度～R4年度	中間見直し実施
第2次岡山県スポーツ推進計画(仮称)	R5年度～R14年度	令和4年度策定予定

（２）岡山県スポーツ推進計画の進捗状況（2020 年度実績）について

岡山県スポーツ推進計画に基づいて実施する施策が、施策目標に対してどれほど達成できているか判断するため、５段階で評価したものです。

【岡山県スポーツ推進計画】

計画期間は、平成 25（2013）年から令和 4（2022）年度までの 10 年間ですが、中間年度に見直しを行いました。

平成 30（2018）年度から、改訂後の計画に基づいて施策を実施しています。

1 評価方法

（１）評価指標

5 点	目標を大きく上回り、著しく高い成果が現れている
4 点	目標を上回っており、具体的成果が現れている
3 点	概ね目標を達成しており、具体的成果が現れている
2 点	目標に達しておらず、関連する所管事業の改善が必要である
1 点	目標を大きく下回り、関連する所管事業の根本的な見直しが必要である

（２）総合評価

関係各課の評価の平均値を出し、小数点第 1 位まで数値化した。

2 基本施策別の評価結果

別添のとおり

3 総括

・スポーツイベントや各種大会が中止となるなど、多くの項目で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、評価値は全て、横ばいか下がる結果となった。特に基本施策Ⅲでは、全ての項目で 2 点台となるなど、目標を達成することができなかった。

・中止となった全国高校総体等の代替となる大会を感染症対策を講じて開催する取組や、トップクラブチームのホームゲームに県民を無料招待する取組など、新型コロナウイルス感染症の影響下にあってもスポーツ活動を止めない工夫を行っているが、具体的成果に繋がるよう、より一層の改善を行い、目標達成に向けて取り組んでいく必要がある。

基本施策Ⅰ ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

項 目	総合評価	前年比
1 幼児期からの運動・スポーツ活動の基盤づくりの推進	3.0 (3.0)	→
2 青少年期の運動・スポーツ活動の推進	3.0 (3.0)	→
3 成年期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	2.6 (3.2)	↓
4 学校における体育・スポーツ活動の充実		
(1) 体育授業の充実・改善	3.0 (3.0)	→
(2) 子どもの体力向上への取組	2.0 (2.0)	→
(3) 運動部活動の改善・充実	3.0 (3.0)	→
(4) 学校体育関係団体の活動支援	3.0 (3.0)	→
5 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進		
(1) 障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	2.7 (3.0)	↓
(2) 障害者スポーツの指導者やボランティア養成及び資質の向上	2.0 (3.0)	↓
6 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進	3.0 (3.0)	→

基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

項 目	総合評価	前年比
1 アスリートの育成・強化	3.0 (3.5)	↓
2 次世代アスリートの発掘・育成	3.0 (3.0)	→
3 持続可能な一貫指導・支援システムの構築	3.0 (3.0)	→
4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築	2.0 (3.0)	↓
5 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上	3.0 (3.0)	→

基本施策Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現

項 目	総合評価	前年比
1 スポーツ参加人口の拡大	2.3 (3.3)	↓
2 スポーツを通じた地域活性化	2.0 (3.3)	↓
3 東京オリンピック・パラリンピック等の開催を契機とした地域活性化	2.7 (3.7)	↓
4 トップクラブチームを核とした地域活性化	2.0 (3.0)	↓

基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備

項 目	総合評価	前年比
1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場	2.5 (3.5)	↓
2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	2.3 (3.0)	↓
3 情報発信と表彰制度	3.0 (4.0)	↓

※総合評価の（ ）内は前年度の評価数字である。

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進(幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進)		
施策名	1 幼児期からの運動・スポーツ活動の基盤づくりの推進	担当課室	保健福祉部子ども未来課 教育庁保健体育課 環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・ 幼児の運動遊び、リズム遊び等を行うおかやま地域子育て支援拠点の認知度向上の取組や情報発信を行った。 ・ おかやま地域子育て支援拠点の従事者を対象とした研修を実施し、従事者の育成、質の向上を図った。 ・ 保育士等のほか、スポーツ推進委員やスポーツ少年団指導者等幼児期の子どもに関わる者を対象に、「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」研修会を実施した。 ・ 国公立幼稚園・認定こども園に対し、スポーツ庁が主催する体育・保健体育指導力向上研修の研修内容をまとめた「学校体育実技指導資料」を配付し、各園における運動遊びの更なる充実を図った。
課題	・ 従事者の更なる質の向上を図る必要がある。 ・ 「学校体育実技指導資料」をより有効に活用するため、運動遊びの研修会等を実施する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	子ども未来課	事業内容	・地域子育て支援拠点事業を実施する市町村への支援（子ども・子育て支援交付金の交付、事業実施への技術的助言等） ・地域子育て支援拠点事業に従事する者の育成、資質向上 ・地域子育て支援拠点事業のPR			
		成果・課題	評価	2018年度	3	
				2019年度	3	
				2020年度	3	
				2021年度		
				2022年度		
【成果】 ・実施市町村数：26市町村 ・子育て支援員研修修了者：172名 ・PR：岡山県ホームページによる紹介 【課題】 ・地域子育て支援拠点事業の認知度向上、さらなる従事者の育成及び資質向上						
2	保健体育課	事業内容	・運動遊び等の指導力向上につながる指導資料の作成			
		成果・課題	評価	2018年度	2	
				2019年度	3	
				2020年度	3	
				2021年度		
				2022年度		
【成果】 ・スポーツ庁主催の「体育・保健体育指導力向上研修」の「幼児の運動遊び部会」の研修内容を含めた「学校体育実技指導資料」を作成し、県内の国公立幼稚園・認定こども園（319園）に配付し、幼稚園教員等の指導力向上を図った。 【課題】 ・より効果的な資料の活用を目指し、研修会等を実施する必要がある。 ・運動の習慣化、体力の向上を図る取組である「みんなでチャレンジラング」への参加幼稚園数が伸び悩んでおり、また、令和元年度と令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、幼稚園、こども園、保育園への周知が課題である。（参加園数 R2:4園、R1:6園、H30:11園、H29:12園、H28:13園）						

3	スポーツ振興課	事業内容	・保育者やスポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者等幼児期の子どもに関わる者を対象とした研修会(アクティブ・チャイルド・プログラム研修会)に専門指導者を派遣し、市町村等の取組を支援する。			
		成果・課題	【成果】 ・しらうめスポーツクラブ主管で研修会(参加者11人)に専門指導者を派遣。幼稚園教諭、保育士等のほか、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会関係者、スポーツ推進員などの資質向上に取り組むことができた。 【課題】 ・多くの参加者を得るため、開催時期や時間帯の工夫や開催PRの強化が必要である。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	2.7	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進(幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進)		
施策名	2 青少年期の運動・スポーツ活動の推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	該当なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・トップクラブチームのホームゲームにおける「県民応援デー」等で、青少年をターゲットとした企画を実施し、スポーツに取り組むきっかけ作りを行った。 ・トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校等に派遣する「トップアスリート派遣事業」等を実施。青少年がアスリートと接する機会の提供、指導者の資質向上につながった。 ・岡山県スポーツ協会を通じ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の活動を支援した。
課題	・スポーツにあまり関心のない青少年にどのようにコンタクトしていくか、方法等を工夫する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・青少年がスポーツに取り組むきっかけづくりを推進するため、トップクラブチームのホームゲームにおいて「県民応援デー」等を開催する。 ・トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校やスポーツ少年団等へ派遣する。 ・総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等の活動を支援し、スポーツの裾野拡大や、指導者等の資質向上に取り組む。			
		成果・課題	【成果】 ・トップクラブチームの「県民応援デー」等で、シュートチャレンジ(トライフープ岡山)や部活動披露(吉備国際大学シャルム岡山高梁)といった青少年をターゲットとした企画を実施。また、大学生、高校生の無料招待も実施(ファジアーノ、トライフープ)。青少年がスポーツに取り組むきっかけづくりに努めた。 ・トップクラブチームの選手が出演する動画を作成し、YouTubeやInstagram等で放映した。(YouTube動画再生回数24,587回、Instagram・Facebook25,049回) ・トップクラブチーム等に所属する選手・指導者を学校等に派遣する「トップアスリート派遣事業」等を実施。青少年がアスリートと接する機会の提供、指導者の資質向上につながった。(R2年度222回派遣、R元年度295回派遣、H30年度294回派遣) ・岡山県スポーツ協会を通じ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等を対象とし研修会等を実施し、活動の充実を支援した。 【課題】 ・スポーツにあまり関心のない青少年にどのようにコンタクトしていくか、方法等を工夫する必要がある。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進(幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進)		
施策名	3 成年期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 保健福祉部健康推進課 保健福祉部長寿社会課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	計画策定時	49% (2010年度)				
			中間見直し時	49.1% (2016年度)				
	指標の説明	・文部科学省実施「体力・運動能力調査」による。 ・「岡山県晴れの国おかやま生き生きプラン」の目標値(生き生き指標)であり、同プランの見直しがあった場合は、本計画の目標値も見直す。	目標値	52.0%→(2020年度)→(2022年度(案))				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				50.4%	48.5%	10月以降公表予定		

数値目標	指標名	成人の1日の歩数	計画策定時	(1) 20~64歳：男性7,960歩、女性6,818歩 (2) 65歳以上：男性5,749歩、女性4,964歩 (いずれも2011年度)				
			中間見直し時	(1) 20~64歳：男性8,068歩、女性6,520歩 (2) 65歳以上：男性5,502歩、女性4,859歩 (いずれも2016年度)				
	指標の説明	・「岡山県第2次健康おかやま21」との整合を図っている(計画策定時に対し、男性はプラス約1000歩、女性はプラス約1500歩)。 ・基礎データのための調査(県民健康調査)は5年に一度の実施。	目標値	(1) 20~64歳：男性9,000歩、女性8,500歩 (2) 65歳以上：男性7,000歩、女性6,000歩 (いずれも2022年度)				
			実績値	(2022年度実績を記入)				

(2) 成果及び課題

成果	・令和2年11月8日に開催を予定していた「おかやまマラソン2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止とした。 ・ニュースポーツや運動の実践方法等の啓発、働き盛り世代のスポーツ実施率の向上や高齢者の運動・スポーツの普及を図るとともに、県民の健康保持増進に取り組んだ。 ・健康運動指導士などを各地域に派遣し、スポーツを通じた健康づくりに取り組むとともに、スポーツの体験教室やクラブ・サークル情報、県内スポーツイベント情報を提供するホームページ「おかやまスポーツナビ」を展開した。
課題	・おかやまマラソンについては、新型コロナウイルスの感染防止対策を万全なものとして、次回大会の開催を目指すこととするが、引き続き国内の感染状況等を注視し、開催の可否を見極める必要がある。 ・ニュースポーツなどの軽運動をさらに普及させるため、よりわかりやすい情報提供を検討する必要がある。 ・気軽に運動・スポーツに取り組める環境整備や簡単に行うことができる健康・体力づくりを一層推進するため、内容や情報提供を工夫する。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・市町村等が実施する運動教室等にレクリエーション指導者や健康運動指導士をはじめとした専門的指導者を派遣。スポーツを通じた健康づくり・体力づくりを支援し、レクリエーションスポーツを実施するとともに、健康相談や栄養指導等を併せて実施し、事業の普及を図る。			
		成果・課題	【成果】 ・岡山市・美咲町主催の運動教室にレクリエーション指導者や健康運動指導士等を派遣し、スポーツによる健康・体力づくりに取り組んだ。(参加者数計320人) ・スポーツ教室やサークル情報、スポーツイベント情報を提供するインターネットサイト「おかやまスポーツナビ」について、利便性がより高まるように改修した。 【課題】 ・市町村のニーズ等を踏まえて、派遣者等を調整する必要がある。 ・「おかやまスポーツナビ」を活用してもらえるよう、タイムリーな情報収集・掲載等に努める必要がある。			
		評価	2018年度	3		
			2019年度	3		
			2020年度	3		
			2021年度			
			2022年度			

2	スポーツ振興課(おかやまマラソン事務局)	事業内容	・おかやまマラソンについて、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。また、スタンプラリーなどの取組を通じて、県内他大会と連携し、県内全体のマラソン大会の盛り上げを図る。				
		成果・課題	【成果】 ・令和2年11月8日に開催を予定していた「おかやまマラソン2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止とした。 ・県内他大会との連携についても、開催中止となった大会が相次いだため、予定していた事業を実施することが不可能となった。 ・次回大会は感染防止策を万全なものとして開催できるよう、新型コロナウイルス感染防止対策計画を策定するなど、準備を進めた。 【課題】 ・新型コロナウイルスの感染防止対策を万全なものとして、次回大会の開催を目指すこととするが、引き続き国内の感染状況等を注視し、開催の可否を見極める必要がある。	評価	2018年度	4	
					2019年度	4	
					2020年度	2	
					2021年度		
					2022年度		
3	健康推進課	事業内容	・「地域・職域保健連携推進協議会」において、関係機関・団体と働き盛り世代の運動定着について協議する。 ・高齢者向けに作成した、フレイル予防のパンフレットを活用し、運動を含めた健康づくりの普及を図る。				
		成果・課題	【成果】 ・高齢者向けに作成したフレイル予防のパンフレットを、健康づくりボランティアが地域で活用し、身体活動の促進や運動習慣の定着について、普及啓発を図ることができた。 【課題】 ・壮年期、高齢期それぞれの世代にあった運動の種類や習慣の定着に向けた方法をさらに普及啓発していく必要がある。	評価	2018年度	3	
					2019年度	3	
					2020年度	3	
					2021年度		
					2022年度		
4	長寿社会課	事業内容	・全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団の派遣 ・地域活動参加のための情報提供及び相談対応 ・ニュースポーツの普及及び用具の貸出等				
		成果・課題	【成果】 ・例年、全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ県選手団を派遣し、高齢者の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図っているが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、翌年へ延期となった。 ・ニュースポーツの普及及び用具の貸出をすることで、高齢者の健康と生きがいづくり、地域参加への一助となった。 【課題】 ・全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団の派遣に当たり、岡山県社会福祉協議会等と連携し、参加団体や実行委員会(事務局)等との調整を図るとともに、全国健康福祉祭(ねんりんピック)やニュースポーツ等の普及啓発を図り、地域参加を促進していく必要がある。	評価	2018年度	3	
					2019年度	3	
					2020年度	2	
					2021年度		
					2022年度		
5	保健体育課	事業内容	・地域におけるスポーツ活動の拠点として学校開放事業を推進する。				
		成果・課題	【成果】 ・公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っている。 H28年度開放状況 屋外運動場78%(75%)、体育館90%(82%)、武道場59%(41%) H30年度開放状況 屋外運動場75%(73%)、体育館89%(86%)、武道場61%(41%) ※()は全国平均 ※学校体育施設設置等状況調査(R1.5月時点) 【課題】 ・公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、さらに多くの県民が活用できるように市町村教委や県立学校に対して、ホームページを活用するなどして周知する。	評価	2018年度	3	
					2019年度	3	
					2020年度	3	
					2021年度		
					2022年度		

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	3.2	3.2	2.6		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進（幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進）		
施策名	4 学校における体育・スポーツ活動の充実 (1) 体育授業の充実・改善	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	該当なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・運動やスポーツが好きな児童生徒の育成につながる体育・保健体育授業等の実施に向けて、県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援（体育授業エキスパート派遣事業）を行った。
課題	・体育授業エキスパート派遣事業について、さらに多くの学校が活用するように市町村教委や学校に周知する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援 ・授業実践例等をホームページで紹介			
		成果・課題	【成果】 ・体育授業エキスパート派遣事業では、体育・保健体育の研究授業における指導助言者、校内研修における講師、パラスポーツ体験会の講師など、学校や地域のニーズに合った研修を実施することができた。 活用回数23回(小:16回、中:7回) 参加教員数306名(小:225名、中:81名) ・小学校における新学習指導要領を踏まえた授業改善と体育の授業力を向上させるための研究を3校のモデル校で行った。 ・市町村担当査会や中高体育担当者会等で、武道のケガの防止に関する研修を行うことができた。 【課題】 ・体育授業エキスパート派遣事業について、活用回数のさらなる増加のため、市町村教委や学校に周知する必要がある。 ・モデル校での研究実践を、小体連と連携しながら広く県内に周知する必要がある。 ・公立中学校武道授業におけるケガの発生件数は、ここ数年減少傾向であり、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、実施内容等の変更・工夫により、前年より31件減少したが、さらに事故防止に努める必要がある。 ケガの発生数 H28:48 → H29:35 → H30:39 → R1:37 → R2:6 ※日本スポーツ振興センターへ医療費を請求した件数	2018年度	3	
				2019年度	3	
				2020年度	3	
				2021年度		
				2022年度		

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進（幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進）		
施策名	4 学校における体育・スポーツ活動の充実 (2) 子どもの体力向上への取組	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	新体力テストにおける総合評価D及びEの児童生徒の割合	計画策定時	設定なし				
			中間見直し時	小5男子：27.7%、小5女子：23.3% 中2男子：24.2%、中2女子：11.2% (いずれも2016年度)				
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。 ・新体力テストにおいて実施する実技種目の記録を1～10点に得点化して総和し、その得点に応じて、A～E段階の5段階で評価したもの。	目標値	小5男子：25.0%、小5女子：21.0% 中2男子：21.8%、中2女子：10.0% (いずれも2022年度)				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				小5男子	29.0%	31.7%	—	
				小5女子	24.2%	26.0%	—	
				中2男子	26.7%	28.8%	—	
				中2女子	11.8%	12.1%	—	

数値目標	指標名	1週間の総運動時間数60分未満の児童生徒数の割合	計画策定時	小5男子：10.6%、小5女子：24.7% 中2男子：10.0%、中2女子：36.4% (いずれも2010年度)				
			中間見直し時	小5男子：5.7%、小5女子：10.5% 中2男子：7.1%、中2女子：20.7% (いずれも2016年度)				
	指標の説明	・スポーツ庁実施「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による。	目標値	小5男子：5.0%、小5女子：8.5% 中2男子：5.0%、中2女子：18.2% (いずれも2022年度)				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				小5男子	7.1%	7.2%	—	
				小5女子	12.5%	11.6%	—	
				中2男子	6.3%	7.0%	—	
				中2女子	20.6%	19.3%	—	

(2) 成果及び課題

成果	・運動の習慣化、体力の向上を図る取組である、「みんなでチャレンジランキング」で、新型コロナウイルス感染症の影響により参加学校園数、参加人数ともに昨年度より減少したが、感染症対策を講じた上で、約150の学校園が実施した。 参加校数：159(203) 参加チーム数：1,310(1,562) 参加延べ人数：43,132(54,152) ※()はR1年度 ・児童自らが新体力テストにおける目標を設定し、記録更新に向けて挑戦する「体力アップ・マイベストチャレンジ！」を実施し、参加児童の体力向上への意欲を高めたり、運動時間を増やしたりすることができた。 参加学校数：53 参加人数：3,786 目標達成児童数：1,193 ・学校や家庭での運動時間の増加を目的として、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を作成し、県内公立小学校へ配付した。一定の条件を達成した児童に運動マスターバッジを配付することで、継続的かつ自発的に運動をしようとする意識を高めることができた。 活用校数（年3回以上）：44校 活用児童数（年3回以上）：5,142 バッジ配付児童数：1,771
	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための緊急事態宣言により小中学校が休校となり、それに伴い、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」も中止となったため、数値目標の達成状況を確認することができなかった。 ・市町村教委や学校に対して、本県児童生徒の体力の状況と運動の習慣化や体力の向上につながる事業の積極的な活用について、さらに周知する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・「みんなでチャレンジランキング」「体力アップ・マイベストチャレンジ！」への参加呼びかけ ・「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」の作成および活用呼びかけ			
		成果・課題	評価	2018年度	2	
				2019年度	2	
				2020年度	2	
				2021年度		
				2022年度		
【成果】 ・運動の習慣化、体力の向上を図る取組である、「みんなでチャレンジランキング」で、新型コロナウイルス感染症の影響により参加学校園数、参加人数ともに昨年度より減少したが、感染症対策を講じた上で、約150の学校園が実施した。 参加校園数:159(203) 参加チーム数:1,310(1,562) 参加延べ人数:43,132(54,152) ※()はR1年度 ・児童自らが新体力テストにおける目標を設定し、記録更新に向けて挑戦する「体力アップ・マイベストチャレンジ！」を実施し、参加児童の体力向上への意欲を高めたり、運動時間を増やしたりすることができた。 参加学校数:53 参加人数:3,786 目標達成児童数:1,193 ・学校や家庭での運動時間の増加を目的として、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を作成し、県内公立小学校へ配付した。一定の条件を達成した児童に運動マスターバッジを配付することで、継続的かつ自発的に運動をしようとする意識を高めることができた。 活用校数(年3回以上):44校 活用児童数(年3回以上):5,142 バッジ配付児童数:1,771 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が中止となったため、数値目標の達成状況を確認することができなかった。 ・市町村教委や学校に対して、本県児童生徒の体力の状況と運動の習慣化や体力の向上につながる事業の積極的な活用について、さらに周知する必要がある。						

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	2.0	2.0	2.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進(幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進)		
施策名	4 学校における体育・スポーツ活動の充実 (3)運動部活動の改善・充実	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	該当なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	- 平成30年9月に策定した「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」を受け、短時間に合理的でかつ効率的、効果的な科学的トレーニングの導入や生徒の主体的な取り組みを促す指導法等について、中高運動部活動担当者を対象とした研修会やモデル校による実践研究を行った。 - 運動部活動に係る事故発生件数は前年度と比較して減少した。 - 令和2年度に作成した運動部活動指導資料を県内全ての中・中等教育・高等学校及び特別支援学校に配付し、体罰の根絶、セクハラ・パワハラをはじめとする不適切な指導の防止及び安全管理、新型コロナウイルス感染症に対する対応等の周知を図った。
課題	- 国のガイドライン、県の方針を踏まえた、持続可能な運動部活動の在り方について、引き続き研究し、適切な運動部活動の運営を示していく必要がある。 - 体罰や不適切な指導の根絶と、医・科学的なトレーニングに基づく適切な部活動が実施されるよう、徹底する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	- 運動部活動の在り方に関する検討 - 体罰や不適切な指導等の根絶や、医・科学的なトレーニングに基づく指導法及び安全管理などの研修会の実施 - 学校体育大会の共催、後援と全国・ブロック大会に参加する生徒の支援 - 部活動指導員の派遣			
		成果・課題	【成果】 - 平成30年9月に策定した「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」を受け、短時間に合理的でかつ効率的、効果的な科学的トレーニングの導入や生徒の主体的な取り組みを促す指導法等について、中高運動部活動担当者を対象とした研修会やモデル校による実践研究を行った。 - 運動部活動に係る事故発生件数は前年度と比較して減少した。 県内中・高校生の運動部活動中の災害発生(日本スポーツ振興センターへの申請)件数 3,805件(4,779件) ※()はR1年度 - 平成30年度に県教委が作成し、全校配布した運動部活動指導資料を活用し、体罰の根絶、セクハラ・パワハラをはじめとする不適切な指導の防止及び安全管理などの研修を行った。 【課題】 - 国のガイドライン、県の方針を踏まえた、持続可能な運動部活動の在り方について、引き続き研究し、適切な運動部活動の運営を示していく必要がある。 - 体罰や不適切な指導の根絶と、医・科学的なトレーニングに基づく適切な部活動が実施されるよう、徹底する必要がある。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進（幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進）		
施策名	4 学校における体育・スポーツ活動の充実 (4)学校体育関係団体の活動支援	担当課室	教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	該当なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・各体連や学体連等と連携し、各種研修会において新学習指導要領に対応した体育、保健体育の授業についての指導助言を行った。
課題	・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育、保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連とさらに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	保健体育課	事業内容	・小、中、高体連への指導助言 ・小、中、高体連が開催する各種スポーツ大会等の支援			
		成果・課題	【成果】 ・各体連や学体連等と連携し、各種研修会において新学習指導要領に対応した体育、保健体育の授業についての指導助言を行った。 【課題】 ・学習指導要領に示されている「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力」を育成するためには、体育、保健体育の授業のみならず、休み時間、放課後の過ごし方や運動部活動等も重要なことから、各体連等とさらに連携を深め、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立を図っていく必要がある。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進（幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進）		
施策名	5 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (1) 障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	担当課室	保健福祉部障害福祉課 環境文化部スポーツ振興課 土木部都市計画課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	障害者スポーツ・レクリエーション教室 参加者数	計画策定時	年間821人（2011年度）				
			中間見直し時	年間1,105人（2016年度）				
	指標の説明	「岡山県障害福祉計画」に準じる。	目標値	年間1,200人（2022年度）				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				680人	744人	—		

(2) 成果及び課題

成果	・「第20回岡山県障害者スポーツ大会」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、次年度開催に向けての検討を行った。 ・障害者スポーツ教室については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、次年度開催に向けて検討を行った。 ・施設の長寿命化等を目的とする個別施設計画を策定。計画中に、障害のある人も含め、利用者の利便性向上につながる内容を盛り込んだ。 ・岡山武道館の主道場について、トイレの洋式化などの改修に向けて具体的な設計を行った。
課題	・障害のある人の障害の種類や程度、興味などに応じたスポーツに気軽に楽しめる機会や競技力の向上を図る場の提供に努める必要がある。 ・コロナ禍におけるスポーツ事業の開催について検討する必要がある。 ・施設管理者と連携しながら、個別施設計画を着実に実行していく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価							
1	障害福祉課	事業内容	・「岡山県障害者スポーツ大会」の開催 ・「岡山県障害者スポーツ教室」の開催 ・次年度における「岡山県障害者スポーツ大会」の開催方法について検討				評価	2018年度	3
								2019年度	3
		成果・課題	【成果】 ・「第20回岡山県障害者スポーツ大会」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、次年度における開催方法について検討を行った。 ・障害者スポーツ教室については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたが、次年度における開催方法について検討を行った。 【課題】 ・障害のある人の障害の種類や程度、興味などに応じたスポーツに気軽に楽しめる機会や競技力の向上を図る場の提供に努める必要がある。	2020年度	2				
				2021年度					
				2022年度					
2	スポーツ振興課	事業内容	・施設のユニバーサルデザインによる障害のある人が使いやすい環境づくり				評価	2018年度	3
								2019年度	3
		成果・課題	【成果】 ・施設の長寿命化等を目的とする個別施設計画を新たに美作ラグビー・サッカー場について策定した。全ての施設（岡山武道館、津山体育館、美作ラグビー・サッカー場、備前テニスセンター、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場）について、個別施設計画中に、障害のある人も含め、利用者の利便性向上につながる内容を盛り込んだ。 ・岡山武道館の主道場について、トイレの洋式化や手すりの改修などに向けて具体的な設計を行った。（改修工事はR3年度～） 【課題】 ・岡山武道館の改修工事ははじめとして、施設管理者と連携しながら、個別施設計画を着実に実行していく必要がある。	2020年度	3				
				2021年度					
				2022年度					

3	都市計画課	事業内容	・施設のユニバーサルデザインによる障害のある人が使いやすい環境づくり			
		成果・課題	【成果】 ・障害のある人だけでなく子どもから高齢者まで、そして観客・競技者・運営者などあらゆる立場の人が不便を感じることなく利用できるよう、施設にはきめ細かくユニバーサルデザインを採用している。 (車椅子対応観客席、車椅子対応スロープ、車椅子対応型エレベーター、車椅子使用者駐車場、多目的トイレ、音声案内エレベーター、点字ブロック等)	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	3.0	3.0	2.7		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進(幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進)		
施策名	5 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (2)障害者スポーツの指導者やボランティア養成及び資質の向上	担当課室	保健福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	「障がい者スポーツ指導員」養成人数	計画策定時	設定なし				
			中間見直し時	年間23人（2012～2016年度の平均）				
	指標の説明	・「岡山県障害福祉計画」に準じる。 ・（公財）日本障がい者スポーツ協会の公認指導者である「障がい者スポーツ指導員」を指す。	目標値	年間30人（2022年度）				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				16人	12人	—		

(2) 成果及び課題

成果	- 岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、次年度開催に向けての検討を行った。 - ボランティア活動について、例年、岡山県障害者スポーツ大会への参加を呼びかけていたが、大会が中止となったためボランティアの活動の場もなかった。
課題	- コロナ禍における養成講習会の方法について検討しなければならない。 - 養成された指導員の再登録及び活用の促進

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価							
1	障害福祉課	事業内容	・岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会の開催 ・障害者スポーツ指導者養成講習会等への派遣 ・「岡山県障害者スポーツ大会」の開催			評価	2018年度	3	
							2019年度	3	
		成果・課題	【成果】 ・岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、次年度開催に向けての検討を行った。 ・日本障がい者スポーツ協会等が実施する指導者養成講習会については、事業主体による中止が相次いだため派遣に至らなかった。 ・ボランティア活動について、「第20回岡山県障害者スポーツ大会」が中止になったことから、活動の場の提供ができなかった。 【課題】 ・コロナ禍における障害者スポーツ事業の開催方法について検討する必要がある。 ・養成された指導員の再登録及び活用の促進				2020年度	2	
							2021年度		

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	3.0	3.0	2.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	I ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進		
施策の方向性	生涯スポーツの推進(幼児期から高齢期までライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進)		
施策名	6 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	P D C A サイクルにより運営の改善等を図る総合型地域スポーツクラブの数	計画策定時	設定なし				
			中間見直し時	11クラブ(2016年度)				
			目標値	30クラブ(2022年度)				
指標の説明	スポーツ庁実施「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」による	実績値		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				14クラブ	13クラブ	13クラブ		

(2) 成果及び課題

成果	・市町村に、総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、総合型クラブ等を活用した事業等の情報提供を行った。 ・地域スポーツ推進研修会を開催し、総合型クラブの指導者やスポーツ推進委員、行政職員等の情報共有・交流を促進し、連携の強化を図った。 ・県スポーツ協会を通じて、総合型クラブに対し、学校部活動との連携を働きかけた。
課題	・自治体によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進しているところがあり、総合型クラブに対する住民ニーズが低いところもある。 ・広域スポーツセンターについては、国の動向を踏まえながら、引き続き、その位置づけを検討する必要がある。 ・スポーツ推進委員との連携強化も必要である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・市町村等に総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、岡山県スポーツ協会と連携して、総合型クラブの実情を把握するなど、その設立・育成を図る。 ・地域のスポーツ推進研修会を開催し、総合型クラブの関係者や行政等のそれぞれの立場からの情報共有・交流を促進する。登録・認証制度の運用に向けて、説明及び情報共有を図る。 ・総合型クラブの活性化を促進するため、岡山県スポーツ協会に委託し、広域スポーツセンター業務を担うスタッフを設置する。				
			成果・課題	【成果】 ・市町村に、総合型地域スポーツクラブの設立を働きかけるとともに、総合型クラブ等を活用した事業等の情報提供を行った。 ・地域スポーツ推進研修会を開催し、総合型クラブの指導者やスポーツ推進委員、行政職員等の情報共有・交流を促進し、連携の強化及び登録・認証制度の運用に向けての説明、情報共有を図った。 【課題】 ・自治体によっては、既存の組織で住民のスポーツ活動を推進しているところがあり、総合型クラブに対する住民ニーズが低いところもある。 ・広域スポーツセンターについては、国の動向を踏まえながら、引き続き、その位置づけを検討する必要がある。 ・スポーツ推進委員との連携強化も必要である。 ・登録・認証制度運用に向けて、より一層の説明と理解を得られるよう県スポーツ協会と連携を図る必要がある。	評価	2018年度	3
						2019年度	3
						2020年度	3
						2021年度	
						2022年度	
2	保健体育課 (再掲)	事業内容	・地域におけるスポーツ活動の拠点として学校開放事業を推進する。				
			成果・課題	【成果】 ・公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っている。 H28年度開放状況 屋外運動場78%(75%)、体育館90%(82%)、武道場59%(41%) H30年度開放状況 屋外運動場75%(73%)、体育館89%(86%)、武道場61%(41%) ※()は全国平均 ※学校体育施設設置等状況調査(R1.5月時点) 【課題】 ・公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、さらに多くの県民が活用できるように市町村教委や県立学校に対して、ホームページを活用するなどして周知する。	評価	2018年度	3
						2019年度	3
						2020年度	3
						2021年度	
						2022年度	

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進（チーム岡山競技力の向上）		
施策名	1 アスリートの育成・強化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	国民体育大会における天皇杯順位	計画策定時	13位（2012年）				
			中間見直し時	16位（2017年）				
	指標の説明	本県人口規模からは高い目標だが、2005年岡山国体以降の成績も勘案して設定している。	目標値	10位台（2022年）				
			実績値	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
				11位	12位	—		

数値目標	指標名	全国高等学校総合体育大会の入賞者数	計画策定時	58（2012年度）				
			中間見直し時	84（2016年度）				
	指標の説明	2016年度に岡山県を中心に開催された高校総体を含めた過去5年間の入賞者の平均(61.2)を勘案して設定している。	目標値	60台（2022年度）				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				48	68	—		

(2) 成果及び課題

成果	- 新型コロナウイルス感染症の影響により第75回国民体育大会及びそれに繋がる中国ブロック大会等が開催されなかったため、選手が練習の成果を確認することができない。 - 新型コロナウイルス感染症の影響により強化遠征・合同練習会・トップコーチ招聘が困難な状況となったが、可能な範囲で選手の競技力の向上や指導者のレベルアップも図られた。また、選手発掘が課題となっている競技団体においては、小中学生を対象とした競技体験会を開催している。 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国高校総体は中止となったが、県総体の代替となる大会を各専門部により感染症対策を講じた上で実施した。 - オリンピック育成事業の中で、指定選手のコンディショニングやサプリメントに関する補助など、医・科学サポートを進めている。
課題	- 国体では、新型コロナウイルス感染症により活動が制限された影響が懸念される。継続して競技得点の大きい団体種目の強化が必要である。また、2016年度から取り入れられた6競技のうちウエイトリフティング女子においては前回大会で1位、3位の成績であったが、その他（オープンウォーター男女、ボクシング女子、レスリング女子、ウエイトリフティング女子、自転車女子、ラグビー女子）も含め、いずれも選手層が薄く、選手育成環境も整っていないのが現状であり、普及から強化まで新たな対策を講じていく必要がある。 - 運動部活動に関する国のガイドラインや県方針の内容を遵守した、短時間に、合理的でかつ効率的、効果的な科学的トレーニングの導入や生徒の主体的な取り組みを促す活動等を研究し、関係団体と連携しながら、実践していく必要がある。 - 個別対応事例などを整理しながら、県と県スポーツ協会医・科学委員会で一体となった医・科学サポート体制が確立できるよう研究を重ねていきたい。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・恒常的に全国上位の競技力を維持するために、ジュニア年代からの一貫指導体制の中で、系統的・継続的強化に取り組む必要があり、各競技の年代ごとの県内トップレベルの選手を系統的に育成し、成年までつながる競技力の向上を図る。 ・一昨年度から競技体験会を実施し、選手発掘の機会を提供するとともに、各競技団体から選抜された中学生に対し、各学年の競技レベルや発育・発達段階に応じた最適なプログラムを提供する。 ・オリンピック育成事業等、個別の事業を通じてコンディショニング指導や医・科学サポートに関する支援を進める。			
			成果・課題	評価	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による活動制限はあるものの、換気や消毒など対策を行いながら、各競技団体とともに、効果的な練習ができているが、競技者の確保が困難な競技も増えつつあり、指導者の世代交代とともに、将来に向けた対策を講じていかなければならない。また、小学生や中学生の活動も定着し、小中あるいは中高が連携した取組も増えてきている。 ・システムの構築については進展がないが、個別の事業を通じてコンディショニング指導や医・科学サポートに関する支援を進めている。	2018年度
		2019年度			4	
		2020年度			3	
		2021年度				
		2022年度				

2	保健体育課	事業内容	・全国高校総体等における、本県生徒の活躍に向けた中体連・高体連との連携			
		成果・課題	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、全国高校総体は中止となったが、県総体の代替となる大会を各専門部により感染症対策を講じた上で実施した。 【課題】 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の防止に留意しながら、運動部活動に関する国のガイドラインや県方針の内容を遵守した、合理的でかつ効果的、効率的な活動等を研究し、関係団体と連携しながら、実践していく必要がある。	評価	2018年度	2
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	3.0	3.5	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進(チーム岡山競技力の向上)		
施策名	2 次世代アスリートの発掘・育成	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・2019年第74回国体における入賞数は、少年男子24、少年女子13であった。2020年第75回鹿児島国体は中止となったため数値的な成果は示せないが、冬季大会少年女子スケート（ショートトラック）において、2種目で優勝を果たしている。 ・チャレンジ ザ トップ事業において国内トップ水準のチーム、指導者を招聘し県内競技レベルの向上を図ることができた。
課題	・コロナ禍の中でも途切れることなくできる強化と安心安全な活動の両立を図る。 ・強化体制が継続的に維持できている競技がある反面、普及や競技者の確保に窮している競技もあり、このことに対する対策が急務である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・チャレンジ ザ トップ事業 中学生年代における国内トップ水準のチーム、指導者を招聘し、合同練習や試合を行っている。 ・ステップアップ おかやまアスリート事業 県が主導して、競技普及に窮している複数の競技団体と共同で体験会を実施する。 ・指導者サポート事業を通して県内指導者の資質向上を図り、継続的な強化につなげる。			
		成果・課題	【成果】 ・チャレンジ ザ トップ事業では、ソフトボール女子(京都府中学生選抜)を招聘。全国トップレベルの指導力を持つ監督とオリンピック日本代表経験のあるコーチによる指導を受け、選手のモチベーション向上やスキルアップ、指導者の研修に繋がった。 ・ステップアップ おかやまアスリート事業では、飛込、ボート、セーリング、カヌーの4競技団体が共同で体験会を2回実施。競技団体指導者の専門的指導のもと、普段なかなか触れることのできない競技を延べ約60名の児童が体験した。 【課題】 ・いずれの事業も定着して、効果的に進めることができていないが、短期間で成果・効果を上げることは困難なことから、継続的な実施が不可欠である。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進(チーム岡山競技力の向上)		
施策名	3 持続可能な一貫指導・支援システムの構築	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・国内トップレベル大会等の現場研修へ、4競技6名の強化指定指導者を派遣し（オリンピック育成事業）、選手の育成環境の整備に努めた。 （オリンピック強化指定選手27名のうち日本代表及び日本代表候補15名 U代表4名） ・大学4年生で4名のアスリートの就職者を確保し、成果を上げることができた。 ・キャリア教育に特化した個別事業はないが、各種強化事業の中で取り組んでいる。
課題	・平成17年の岡山国体から15年が経過し、指導者の世代交代期を迎えている競技団体も多い。各競技団体で次の時代を担う指導者の育成が急務であるとともに、その研修内容についても検討が必要である。 ・アスリート就職支援事業では、協力企業の開拓や、より効果的なアスリートの就職支援に繋がるよう、採用後の支援等についても研究していきたい。 ・各強化事業の中で、競技団体と連携しながら着実に取り組んでいく必要がある。 ・本県スポーツ振興の担い手を育成するため、関係機関等とも連携しながら、引き続き研究する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価						
1	スポーツ振興課	事業内容	・将来、オリンピックをはじめ、国際大会で活躍する選手の育成が期待される県内トップレベルの指導者に対し、高度な指導方法及び知識を得る機会を提供する。 ・次世代を担う若手の指導者が、指導力及び資質向上のために研修する機会を提供する。 ・ジュニア期から岡山で育成され、県内外で活躍している心身ともに優れたアスリートの就職を促進することで、継続的に優秀な人材を確保し、競技スポーツの推進はもとより、スポーツを通じた地域貢献に資する。 ・将来、オリンピックをはじめ、国際大会で活躍する選手の育成が期待される県内トップレベルの指導者に対し、高度な指導方法及び知識を得る機会を提供する。 ・キャリア教育に特化した個別事業はないが、各種強化事業の中で取り組んでいる。			評価	2018年度	3
			2019年度	3				
	2020年度	3						
	2021年度							
	2022年度							
	成果・課題	【成果】 ・強化指定を受けた指導者は、現地で研修(オリンピック育成事業)や、指導者研修会で、世界で戦い抜く指導方法を学ぶことができた。 ・アスリート就職支援事業を活用した大学4年生のうち、4名が就職内定を確保し、成果を上げることができた。 ・キャリア教育については、県としては事業化していないため評価はできないが、各種強化事業等において、各競技団体内で取り組まれている。 【課題】 ・アスリート就職支援事業では、協力企業の開拓や、より効果的なアスリートの就職支援に繋がるような採用後の取組等の検討が必要である。 ・本県スポーツ振興の担い手を育成するため、関係機関等との更なる連携が必要である。			2018年度		3	
		2019年度	3					

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進(チーム岡山競技力の向上)		
施策名	4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築	担当課室	保健福祉部障害福祉課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	・「第20回岡山県障害者スポーツ大会」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、次年度開催に向けての検討を行った。 ・第20回全国障害者スポーツ大会については、開催中止となったため、選手団の派遣を行えなかった。 ・岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、次年度開催に向けての検討を行った。日本障がい者スポーツ協会等が実施する指導者養成講習会については、事業主体による中止が相次いだため派遣に至らなかった。 ・パラリンピック等への出場を目指す障害者アスリートを対象に、強化合宿や国際大会参加等に要する費用の一部を補助する「パラリンピアン育成事業」を実施し、当年度は6名を強化指定選手として選定した。また、強化指定選手の指導者2名についても講習会参加に要する費用等を補助した。
課題	・コロナ禍におけるスポーツ事業の開催方法について検討する必要がある。 ・障害の特性に応じた専門的な知識を備えた指導者に指導を受けることのできる環境づくり ・養成された指導員の再登録及び活用の促進

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	障害福祉課	事業内容	・「岡山県障害者スポーツ大会」への選手団の派遣 ・「全国障害者スポーツ大会」及び団体競技地区大会への選手団の派遣 ・岡山県障害者スポーツ指導員（初級）養成講習会及び障害者スポーツ指導者養成講習会等への派遣			
		成果・課題	評価	2018年度	3	
				2019年度	3	
				2020年度	2	
				2021年度		
				2022年度		

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	2.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築		
施策の方向性	競技スポーツの推進(チーム岡山競技力の向上)		
施策名	5 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	スポーツの価値向上にあたっては、指導者の資質を高め、ハラスメント等の問題を皆無にすることが必要なことから、国の定める「モデル・コア・カリキュラム」に準じた研修会を展開した。このことで、コーチングに関わる理念、哲学、キャリアデザイン等、新たな視点での研鑽を積むことができた。
課題	指導者の世代交代期を迎えている競技団体も多く、特に若い世代の指導力向上が課題である。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・指導者サポート事業 国体正式41競技団体の核となる指導者を対象に、コーチングの理念・哲学やキャリアデザイン等をテーマに研修会を行う。			
		成果・課題	【成果】 6回(18時間)の講習会を開催。約15人の指導者に対して、人材育成・コーチングコンサルティングの専門家による講習会を実施した。従来の技術・戦術指導とは全く違った視点からの内容であり、大変有意義なプログラムとなっている。 【課題】 講習会の参加者から概ね好評を得ているが、直ちに成果が出るものではないことから、検証を続けていく。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	3.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現		
施策の方向性	スポーツ参加人口の拡大と地域の活性化		
施策名	1 スポーツ参加人口の拡大	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 保健福祉部健康推進課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数 値 目 標	指標名	「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	計画策定時	設定なし				
			中間見直し時	30.6% (2017年度)				
			目標値	38.0% (2020年度) → (2022年度)				
	指標の説明	岡山県実施「県民意識調査」による「新晴れの国生き生きプラン」の目標値(生き生き指標)であり、同プランの見直しがあった場合は、本計画の目標値も見直す。	実績値	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
				28.0%	40.4%	28.0%		

(2) 成果及び課題

成果	・コロナ禍で冷え込んだスポーツ観戦意欲の回復を図るため、ファジアーノやシーガルズなど各クラブのホームゲームにおいて、合計33試合、延べ27,846人の県民招待を実施した。 ・各クラブのファン・サポーターの拡大やスポーツに取り組む意欲向上のきっかけとなる「県民応援デー」等を実施し、応援気運の醸成やスポーツへの関心を高めた。 ・令和2年11月8日に開催を予定していた「おかやまマラソン2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止としたが、次年度の開催に向けて準備に取り組んだ。 ・おかやま健康づくりアワードの実施により、働き盛り世代に運動習慣の定着を含めた健康づくりを推進する企業が増加した。 ・高齢者向けに作成したフレイル予防のパンフレットを、健康づくりボランティアが地域で活用し、身体活動の促進や運動習慣の定着について、普及啓発を図ることができた。
課題	・イベント等について、より積極的なPR方法や魅力的な企画内容を検討する必要がある。 ・引き続き多くの方に参加していただけるよう積極的な情報発信を行うとともに、更なる改善を重ね、大会の満足度向上を目指す。 ・壮年期、高齢期それぞれの世代にあった運動の種類や習慣の定着に向けた方法をさらに普及啓発していく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・トップクラブチームのホームゲームにおけるイベント「県民応援デー」等の実施や、トップレベルの大会誘致等を進め、多くの県民がスポーツに関心を持てるようなきっかけづくりに取り組む。 ・ホームページ「おかやまスポーツナビ」等を通じ、県内のスポーツイベントや運営ボランティア、指導者など、様々な情報を発信する。			
		成果・課題	評価	2018年度	3	
				2019年度	3	
				2020年度	2	
				2021年度		
				2022年度		
		【成果】 ・ファジアーノやシーガルズなど各クラブのホームゲームにおいて、合計33試合、延べ27,846人の県民招待を実施したことにより、コロナ禍で冷え込んだスポーツ観戦意欲の回復を図った。 ・高校生による部活動の披露、クイズ企画の実施など、各クラブのファン・サポーターの拡大やスポーツに取り組む意欲向上のきっかけとなる「県民応援デー」等を実施し、応援気運の醸成やスポーツへの関心を高めた。 ・ホームページ「おかやまスポーツナビ」等を通じ、県内のスポーツイベントや運営ボランティア、指導者情報など、様々な情報を発信した。 【課題】 ・イベント等について、より積極的なPR方法や魅力的な企画内容を検討していく必要がある。 ・「おかやまスポーツナビ」の情報の充実と、県民のニーズにあった情報を提供できるよう引き続き、改修等を行う必要がある。				

2	スポーツ振興課 (おかやまマラソン事務局)	事業内容	・おかやまマラソンについて、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。また、スタンプラリーなどの取組を通じて、県内他大会と連携し、県内全体のマラソン大会の盛り上げを図る。				
		成果・課題	【成果】 ・令和2年11月8日に開催を予定していた「おかやまマラソン2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止とした。 ・県内他大会との連携についても、開催中止となった大会が相次いだため、予定していた事業を実施することが不可能となった。 ・次回大会は感染防止策を万全なものとして開催できるよう、新型コロナウイルス感染防止対策計画を策定するなど、準備を進めた。 【課題】 ・新型コロナウイルスの感染防止対策を万全なものとして、次回大会の開催を目指すこととするが、引き続き国内の感染状況等を注視し、開催の可否を見極める必要がある。	評価	2018年度	4	
					2019年度	4	
					2020年度	2	
					2021年度		
					2022年度		

3	健康推進課 (再掲)	事業内容	・「地域・職域保健連携推進協議会」において、関係機関・団体と働き盛り世代の運動定着について協議する。 ・高齢者向けに作成した、フレイル予防のパンフレットを活用し、運動を含めた健康づくりの普及を図る。				
		成果・課題	【成果】 ・おかやま健康づくりアワードの実施により、働き盛り世代に運動習慣の定着を含めた健康づくりを推進する企業が増加している。 ・高齢者向けに作成したフレイル予防のパンフレットを、健康づくりボランティアが地域で活用し、身体活動の促進や運動習慣の定着について、普及啓発を図ることができた。 【課題】 ・壮年期、高齢期それぞれの世代にあった運動の種類や習慣の定着に向けた方法をさらに普及啓発していく必要がある。	評価	2018年度	3	
					2019年度	3	
					2020年度	3	
					2021年度		
					2022年度		

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	3.3	3.3	2.3		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現		
施策の方向性	スポーツ参加人口の拡大と地域の活性化		
施策名	2 スポーツを通じた地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局 土木部都市局都市計画課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	地域スポーツコミッションの数	計画策定時	設定なし				
			中間見直し時	2団体（2017年度）				
			目標値	6団体（2022年度）				
	指標の説明	年間1団体程度の増加を目指す。	実績値	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
				4団体	4団体	4団体		

(2) 成果及び課題

成果	・おかやまマラソンについては、運営面の改善を図りながら、参加者アンケートでの意見等も参考に更なるランナーサービスの向上にも取り組むなど、開催準備等を進めるとともに、大会開催に向けた広報や、機運醸成イベント等を実施した。また、並行して2020大会の準備を進めた。 ・関係市と連携し、スポーツコミッションの活動を支援するとともに、ナショナルチーム等の県内合宿に際しては、協力しながら受け入れを進めた。 ・地域資源を生かした環境スポーツイベントである「SEA TO SUMMIT」については、新型コロナウイルス感染症の影響により鏡野町、備前市での開催はともに中止となった。 ・例年開催していた、マスカットスタジアムにおける、プロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合等は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
課題	・様々なスポーツイベントへの誘客促進を図るとともに、イベントをどのように地域活性化につなげていくか、方法等を検討し、取り組む必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえ、事前キャンプの誘致活動を積極的に行うため、県内関係団体や各地域での取組状況を把握しながら、「スポーツコミッション」の設立の支援を行う。 ・地域資源を生かした環境スポーツイベントであるSEA TO SUMMITを鏡野町、備前市において開催し、スポーツ活動への参加機会を提供することでスポーツ活動人口の増加を図るとともに、地域の魅力を発信することでイベントへの参加をきっかけとしたスポーツツーリストのリピーター化を促進し、地域活性化を図る。			
			成果・課題	評価	2018年度	4
		2019年度			3	
		2020年度			2	
		2021年度				
		2022年度				

2	スポーツ振興課 (マラソン事務局)	事業内容	・岡山市をはじめ関係団体との連携のもとで、中四国最大規模の都市型マラソン大会を開催し、大会の開催を通じて、県民の健康と体力の増進、地域の活力向上や一体感の醸成を図るとともに、本県の情報発信や、地域経済の活性化など地域振興にも繋げる。 ・前回大会での運営面の改善を図りながら、参加者アンケートでの意見等も参考に更なるランナーサービスの向上にも取り組むなど、開催準備等を進める。				
		成果・課題	【成果】 ・令和2年11月8日に開催を予定していた「おかやまマラソン2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止とした。 ・次回大会は感染防止策を万全なものとして開催できるよう、新型コロナウイルス感染防止対策計画を策定するなど、準備を進めた。 【課題】 ・新型コロナウイルスの感染防止対策を万全なものとして、次回大会の開催を目指すこととするが、引き続き国内の感染状況等を注視し、開催の可否を見極める必要がある。	評価	2018年度	4	
					2019年度	4	
					2020年度	2	
					2021年度		
					2022年度		

3	都市計画課	事業内容	・マスカットスタジアムにプロ野球を誘致するため、「岡山にプロ野球を誘致する会」を中心に誘致活動を行う。 ・プロ野球開催時に球場周辺の賑わいづくりを実施する。				
		成果・課題	【成果】 例年開催していたプロ野球公式戦1試合、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦1試合、オープン戦3試合、楽天の秋季キャンプが新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、全て中止となった。 【課題】 マスカットスタジアムでのプロ野球開催が2020年度は1度も開催が出来ていない状態である。次年度以降は例年並みの規模の試合が開催できるとともに、2試合、3試合と1試合でも開催数を増やすことが出来るよう誘致活動を進めていく。	評価	2018年度	3	
					2019年度	3	
					2020年度	2	
					2021年度		
					2022年度		

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	3.7	3.3	2.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現		
施策の方向性	スポーツ参加人口の拡大と地域の活性化		
施策名	3 東京オリンピック・パラリンピック等の開催を契機とした地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 保健福祉部障害福祉課 環境文化部文化振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	ナショナルチームキャンプ等誘致件数	計画策定時	設定なし				
			中間見直し時	5 件（2016年度）				
	指標の説明	「新晴れの国おかやま生き生きプラン」の「生き生き指標」の考え方（2017～2020年度で20件）の考え方に準じ、年間平均5件としている。	目標値	25 件（2018～2022年度の計）				
			実績値	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
				13件	12件	2件		

数値目標	指標名	東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数	計画策定時	設定なし				
			中間見直し時	—				
	指標の説明	「新晴れの国おかやま生き生きプラン」の目標値（生き生き指標）であり、同プランの見直しがあった場合は、本計画の目標値も見直す。	目標値	2,000件（2017～2020年度→2021年度（案）の計）				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				618件	981件	1173件		

(2) 成果及び課題

成果	・スポーツ合宿については、東京オリンピック・パラリンピックの延期により、減少したが、日本代表水球チーム等の合宿受入を行った。 ・パラリンピックのキャンプ誘致については、パラ・パワーリフティング日本代表選手の強化キャンプを岡山県総合グラウンド陸上競技場ウォーミングアップ室で実施した。 ・聖火リレーの実施については、1年間延期されたものの走行ルートやランナーなど大枠は踏襲された内容となったため、引き続き大会組織委員会、市町、県警と連携し、交通規制や警備に係る入念な準備を行った。また、各市町で実施するセレモニー等の調整や内容検討、会場設営等の準備を行った。 ・パラリンピック聖火フェスティバルについては、県実行委員会を令和元年度に設立し、全市町村が参加する形で、実施準備を進めた。 ・東京オリンピック・パラリンピックに向け、「おかやま文化芸術アソシエイツ」の活用による文化団体等への活動支援を通じた文化プログラムへの参画促進や地域資源を活用したアーティストによる滞在・交流事業（約2千人が来場）では、アート体験の実施や作品を常設展示とするなど、文化の力による地域の魅力を発信し、その活用を図った。
課題	・オリンピック等の延期を受け、相手国、市町、競技団体等と緊密に連携しながら、コロナ対策等も含めた受け入れ準備を改めて進めていく必要がある。 ・聖火リレーについては、大会組織委員会からコロナ対策ガイドラインの提供が遅れたため、対応が十分進んでいない。また、タイムスケジュールの見直しにより公共交通機関への影響が大きくなる市町もあるので、関係各所と調整する必要がある。 ・パラリンピック聖火フェスティバルの実施については、各市町村、関係団体等と連携しながら引き続き準備を進めていく必要がある。 ・「おかやま文化芸術アソシエイツ」の活用による県内の文化団体等への相談対応や活動支援、アーティストの滞在制作事業の実施による地元住民をはじめ関係団体等との協働を引き続き取り組むことにより、地域活力の醸成に努めていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツ合宿の誘致については、H28年度に創設したナショナルチーム等のキャンプやトップレベルの大会誘致のための補助制度等を活用し、市町村や県競技団体等と連携を図りながら、駐日大使館や中央の協議団体等への働きかけを強化するなど積極的に誘致活動を行い、一つでも多くのキャンプ誘致の実現をめざす。			
		成果・課題	【成果】 ・スポーツ合宿の誘致については、コロナの影響により海外ナショナルチームの合宿は実施できなかったが、日本代表水球チームの合宿など計3件の合宿が実施された。 ・聖火リレーの実施については、1年間延期されたものの走行ルートやランナーなど大枠は踏襲された内容となったため、引き続き大会組織委員会、市町、県警と連携し、交通規制や警備に係る入念な準備を行った。また、各市町で実施するセレモニー等の調整や内容検討、会場設営等の準備を行った。 【課題】 ・スポーツ合宿については、オリンピック等の延期を受け、相手国、市町、競技団体等と緊密に連携しながら改めて受け入れ準備を進めていく必要がある。 ・聖火リレーについては、大会組織委員会からコロナ対策ガイドラインの提供が遅れたため、対応が十分進んでいない。また、タイムスケジュールの見直しにより公共交通機関への影響が大きくなる市町もあるので、関係各所と調整する必要がある。	評価	2018年度	4
					2019年度	4
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	
2	障害福祉課	事業内容	2020東京パラリンピック競技大会に係るナショナルチーム又は国代表選手が行うキャンプの誘致を促進し、東京パラリンピック開催の効果を本県に波及させ障害者スポーツの振興と障害への理解の一層の促進を図る。			
		成果・課題	【成果】 ・パラ・パワーリフティング日本代表選手の強化キャンプを岡山県総合グラウンド陸上競技場ウォーミングアップ室で実施した。 ・パラリンピック聖火フェスティバルについては、県実行委員会を令和元年度に設立し、全市町村が参加する形で、実施準備を進めた。 【課題】 ・地元市町村や県競技団体と緊密に連携しながら、これまでの実績等を踏まえ、具体的な国・競技の絞り込みを行い、東京大会の事前キャンプ誘致に結び付けていく必要がある。 ・パラリンピック聖火フェスティバルの実施については、各市町村、関係団体等と連携しながら引き続き準備を進めていく必要がある。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	
3	文化振興課	事業内容	・東京オリンピック・パラリンピックに向け、「おかやま文化芸術アソシエイツ」を設置し、県内の文化団体等を支援するとともに、市町村、文化関係団体等と連携を図りながら、地域資源を活用した様々な文化イベントを展開し、文化芸術活動の一層の活性化と国内外からの誘客により、地域の活力を醸成する。			
		成果・課題	【成果】 ・「おかやま文化芸術アソシエイツ」の活用により、文化団体等からの相談対応や文化芸術団体の職員研修会を開催した。また、「文化芸術交流実験室」の開催により、県内の人材や文化資源の横断的な出会いの場を創出するとともに、文化情報の発信に取り組んだ。 ・地域資源を活用したアーティストによる滞在・交流事業では、コロナ禍にも関わらず約2千人の来場があった。また、本事業の成果が地域に残るようアート体験やアート作品の常設展示を実施するなど、文化の力による地域の魅力の発信及びその活用を図った。 【課題】 ・「おかやま文化芸術アソシエイツ」の活用による県内の文化団体等への相談対応や活動支援を継続して実施していく必要がある。 ・アーティストの滞在制作事業の実施による地元住民をはじめ関係団体等との協働を引き続き取り組むことにより、地域活力の醸成に努めていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により文化イベントの中止が余儀なくされ、その結果、文化プログラムの件数が大幅に減少したことから、インターネットを活用した新たな文化活動への取組も進めていく必要がある。	評価	2018年度	3
					2019年度	4
					2020年度	2
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	3.3	3.7	2.7		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現			
施策の方向性	スポーツ参加人口の拡大と地域の活性化			
施策名	4 トップクラブチームを核とした地域活性化	担当課室	環境文化部スポーツ振興課	

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	計画策定時	166千人（2011年度シーズン）				
			中間見直し時	248千人（2016年度シーズン）				
	指標の説明	ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山湯郷ベル、吉備国際大学シャルム岡山高梁、岡山リベッツ、トライフーズ岡山のホームゲームにおける観客動員数	目標値	273千人（2022年度シーズン）				
			実績値	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
				211千人	243千人	81千人		

(2) 成果及び課題

成果	・コロナ禍で冷え込んだスポーツ観戦意欲の回復を図るため、ファジアーノやシーガルズなど各クラブのホームゲームにおいて、合計33試合、延べ27,846人の県民招待を実施した。 ・ファン・サポーターの拡大やスポーツに取り組む意欲向上のきっかけとなる「県民応援デー」等を実施し、応援気運の醸成やスポーツへの関心を高めた。 ・ファジアーノ岡山と中四国J2チームとの対戦カード（「PRIDE OF 中四国」）において、本県の情報発信やアウェイサポーターに向けた岡山への誘客促進PR等を実施した。 ・小中学校や市町村のイベントにトップクラブチームの選手を含めトップアスリートを派遣し、参加者に技術指導を行うなど、「するスポーツ」のきっかけづくりにつなげた。
課題	・順調に伸びていた観客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、無観客試合や観客上限数の制限を受けて大きく減少している。今後、感染防止策の強化や、一度冷え込んだスポーツ観戦意欲の回復を図る新たな取組が必要である。 ・「県民応援デー」等については、より積極的なPR方法や魅力的な企画内容を検討する必要がある。 ・イベント等の開催にあたっては、新たな生活様式も視野に入れたうえで検討していく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・トップクラブチームのホームゲームにおいて、イベント「県民応援デー」等を実施し、ファン・サポーターの拡大やスポーツに関心を持つきっかけづくりに取り組み、全県における気運醸成を図る。 ・ファジアーノ岡山と中四国のJ2所属チームとの試合（「PRIDE OF 中四国」）において、関係自治体が連携し、情報発信を行うとともに、アウェイサポーターの誘客の促進など県域を越えた交流や地域の活性化を図る。 ・トップクラブチームの選手が学校やスポーツ少年団等に出向き、技術指導や交流を実施するトップアスリート派遣事業を実施し、「するスポーツ」のきっかけづくりを促進する。				
		成果・課題	評価	2018年度	3		
				2019年度	3		
				2020年度	2		
				2021年度			
				2022年度			
		【成果】 ・ファジアーノやシーガルズなど各クラブのホームゲームにおいて、合計33試合、延べ27,846人の県民招待を実施したことにより、コロナ禍で冷え込んだスポーツ観戦意欲の回復を図った。 ・高校生による部活動の披露、クイズ企画の実施など、各クラブのファン・サポーターの拡大やスポーツに取り組む意欲向上のきっかけとなる「県民応援デー」等を実施し、応援気運の醸成やスポーツへの関心を高めた。 ・ファジアーノ岡山と中四国J2チームとの対戦（「PRIDE OF 中四国」）において、県の情報発信やアウェイサポーターの岡山への誘客促進等を実施したほか、中四国関係県との交流を深めた。 ・小中学校や市町村のイベントにトップクラブチームの選手を含めトップアスリートを派遣し、参加者に技術指導を行うなど、トップアスリートとの交流の機会の提供を推進し、「するスポーツ」のきっかけづくりにつなげた。					
【課題】 ・安心してホームゲームに来場してもらえるよう、感染防止策の強化や、一度冷え込んだスポーツ観戦意欲の回復を図る新たな取組が必要である。 ・「県民応援デー」等について、より積極的なPR方法や魅力的な企画内容を検討していく必要がある。 ・また、イベント等の開催にあたっては、新たな生活様式も視野に入れたうえで検討していく必要がある。							

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	3.0	2.0		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備		
施策の方向性	スポーツの基盤となる「人」・「場」の環境整備		
施策名	1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 おかやまマラソン事務局

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	設定なし	計画策定時	
			中間見直し時	
	指標の説明		目標値	
			実績値	

(2) 成果及び課題

成果	- 総合型地域スポーツクラブと市町村等との調整を行うなど、広域スポーツセンターの活動を支援した。 - 令和2年11月8日に開催を予定していた「おかやまマラソン2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止とした。
課題	- スポーツリーダーの新規登録者数の増加を促進するとともに、既登録者について、既存事業と連動を図りながら活動の場の提供につなげていく必要がある。 - おかやまマラソンのみならず、より幅広くスポーツボランティアについて周知するため、より効果的なPR手法を検討する必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価					
1	スポーツ振興課	事業内容	・スポーツやレクリエーション活動の指導者について、「ばるネット岡山」（岡山県生涯学習情報提供システム）への登録を促進し、指導者等の情報を提供する。 ・総合型地域スポーツクラブを支援する広域スポーツセンターの活動充実を図る。				
		成果・課題	【成果】 ・総合型地域スポーツクラブと市町村等との調整を行うなど、広域スポーツセンターの活動を支援した。	【課題】 ・スポーツリーダーの新規登録者数の増加を促進するとともに、既登録者の活動の場の提供につなげていく必要がある。 ・スポーツリーダーの登録・活躍の場の拡大のため、効果的なPR方法等を検討する必要がある。	評価	2018年度	3
						2019年度	3
						2020年度	3
						2021年度	
2022年度							
2	スポーツ振興課 (マラソン事務局)	事業内容	・おかやまマラソンにおいて、県民が一体となって「支える」大会となるよう、大会運営を支えるボランティアを個人はもとより、企業、地域団体、学校等から広く募集する。				
		成果・課題	【成果】 ・令和2年11月8日に開催を予定していた「おかやまマラソン2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止とした。	【課題】 ・新型コロナウイルスの感染防止対策を万全なものとして、次回大会の開催を目指すこととするが、引き続き国内の感染状況等を注視し、開催の可否を見極める必要がある。 ・次回大会では、ボランティアとして参加していただく方に対して、マスクや使い捨て手袋等を配布するほか、ランナーとの接触機会を減少させる等、安心して活動していただける環境を整えることとする。	評価	2018年度	4
						2019年度	4
						2020年度	2
						2021年度	
2022年度							

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.5	3.5	2.5		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	IV スポーツ環境の整備		
施策の方向性	スポーツの基盤となる「人」「場」の環境整備		
施策名	2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	担当課室	環境文化部スポーツ振興課 土木部都市計画課 保健福祉部健康推進課 教育庁保健体育課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	県営スポーツ施設利用者数	計画策定時	1,575千人（2011年度）				
			中間見直し時	1,990千人（2016年度）				
	指標の説明	シティライトスタジアム、ジップアリーナ岡山、岡山武道館、津山総合体育館・津山東体育館、美作ラグビー・サッカー場、備前テニスセンター、津山陸上競技場、笠岡陸上競技場の利用者数。2016年度はインターハイがあったため、2015年度（1,754千人）を基準に、1割程度の増を目指す。	目標値	1,930千人（2022年度）				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1,735千人	1,623千人	775千人		

数値目標	指標名	学校体育施設の開放率	計画策定時	屋外運動場83%、体育館89%、武道場58%（いずれも2010年度）				
			中間見直し時	屋外運動場78%、体育館89%、武道場59%（いずれも2015年度）				
	指標の説明	・全国平均を上回っており、中間見直し時においても計画策定時と同程度であることから、目標値は同じ率とする。	目標値	屋外運動場85%、体育館91%、武道場60%（いずれも2021年度）				
			実績値	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
			屋外運動場	78%	75%	-		
			体育館	90%	89%	-		
			武道場	59%	61%	-		

(2) 成果及び課題

成果	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設を休館（4/18～5/31）や利用制限した影響等により利用者は減少したものの、各指定管理者において消毒や換気の実施など感染症防止策に努め、スポーツ施設の活用を促進した。 ・包括協定に基づく安全管理計画による施設管理を行い、事故防止や事故発生時の体制の整備に努めた。 ・R2年度は1施設（美作ラグビー・サッカー場）において個別施設計画を策定したため、全ての施設において個別施設計画の策定が完了し、それに基づいて県有施設の改修や設備の更新を計画的に行っており、県内スポーツ施設の機能の充実を図っている。
課題	・スポーツ施設について、さらなる利便性の向上に資するような情報提供の手法を検討する必要がある。また、感染症対策をはじめとした、利用者の安全安心に繋がる取組を強化する必要がある。 ・各施設の老朽化が進み、今後施設・設備の改修費用が嵩んでくることから、公共施設マネジメント方針に基づく個別施設計画を策定し、計画的な改修等により長寿命化を図っていく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・計画的に改修等を行い、施設の長寿命化等を図るための個別施設計画を策定するとともに、その実行に取り組む。 ・指定管理者と連携しながら、積極的な利用者サービスの向上に向けた取組を行い、安全で適切な施設管理に努める。 ・スポーツ施設等の情報提供等に取り組み、利用者の増加や活用促進を図る。 ・県内スポーツ施設の設置者や管理者を対象に、施設・設備の点検や管理体制等の適切で具体的な知識についての情報提供を行う。			
		成果・課題	【成果】 ・計画的に改修等を行い、施設の長寿命化等を図るための個別施設計画を策定した。(美作ラグビー・サッカー場) ・津山陸上競技場のメインスタンド改修工事をはじめ、各施設の修繕等を行った。 ・岡山武道館については、練習道場の建替工事に着手し、解体工事を終え、建設工事中である。(令和3年8月完成予定。) ・指定管理者と連携し、利用サービスの向上など施設管理を行った。 ・ホームページを活用した施設情報の提供を行い、スポーツ施設の活用を促進した。 ・県内スポーツ施設の設置者や管理者を対象に施設・設備の点検等についての情報提供を行った。 【課題】 ・施設管理者と連携しながら、施設の修繕や長寿命化等を計画的に実行する必要がある。 ・利用者サービスの向上を図り、利用者数の増加に取り組む必要がある。 ・新型コロナウイルスの感染症の拡大により利用者が大きく減少した。今後は、感染症への対策を実施しながら、利用者の利便性の向上や施設の活用の促進を推進していく必要がある。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	2
					2021年度	
					2022年度	
2	都市計画課	事業内容	・長寿命化計画に基づき、施設機能の維持充実のため必要な改修整備を実施する。 ・指定管理者は利用者のニーズにあった自主事業を実施する。 ・指定管理者は安全管理計画を策定し、これに基づき施設管理を実施する。 ・指定管理者は包括協定に基づき、アンケートを実施するなど利用者のニーズを把握し、ニーズにあった運営を実施する。			
		成果・課題	【成果】 ・中央監視設備更新工事、陸上競技場改修工事、プール改修に向けた設計を行った。 ・自主事業として子どもたちが楽しめるイベント実施や利用者が見やすいホームページの更新など、施設の利用拡大を行った。 ・安全管理計画に基づき施設管理を行った。 ・指定管理者と連携をしながら、利用者からのアンケートを実施するなどサービス向上を行った。 ・新型コロナウイルスの感染症の拡大により利用者が大きく減少した。今後は、感染症への対策を実施しながら、利用者の利便性の向上や施設の活用の促進を推進していく必要がある。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	2
					2021年度	
					2022年度	
3	健康推進課	事業内容	岡山県南部健康づくりセンターの利用促進			
		成果・課題	【成果】 ・岡山県南部健康づくりセンターについて、指定管理者と連携し、利用者の利便性の向上などに取り組んだ。 ・施設機能の維持充実のため、トレーニングルーム軒天井修繕等必要な改修整備を行った。 【課題】 ・利用者の利便性向上のため、さらなる取り組みが必要である。 ・施設機能の維持充実のため、必要な改修整備に取り組む。	評価	2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	2
					2021年度	
					2022年度	

4	保健体育課 (再掲)	事業内容	・地域におけるスポーツ活動の拠点として学校開放事業を推進するため、県教育庁保健体育課ホームページに掲載し、周知している。			
		成果・課題	【成果】 ・公立学校の体育施設の開放率は国の平均を上回っている。 H28年度開放状況 屋外運動場78%(75%)、体育館90%(82%)、武道場59%(41%) H30年度開放状況 屋外運動場75%(73%)、体育館89%(86%)、武道場61%(41%) ※()は全国平均 ※H30実績 学校体育施設設置等状況調査(R1.5月時点) 【課題】 ・公立学校の体育施設の開放率は、全国平均を上回っているものの、さらに多くの県民が活用できるように市町村教委や県立学校に対して、ホームページを活用するなどして周知する。	評価	2017年度	3
					2018年度	3
					2019年度	3
					2020年度	
					2021年度	

4 総合評価

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
総合評価	3.0	3.0	2.3		

岡山県スポーツ推進計画（改訂版） 2020年度施策評価シート

1 評価施策名

基本施策	Ⅳ スポーツ環境の整備		
施策の方向性	スポーツの基盤となる「人」・「場」の環境整備		
施策名	3 情報発信と表彰制度	担当課室	環境文化部スポーツ振興課

2 課室施策評価

(1) 推進計画における数値目標

数値目標	指標名	スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数	計画策定時	設定なし				
			中間見直し時	21,689件（2016年度）				
	指標の説明	現状（2016年度）の倍増を目指す。	目標値	40,000件（2022年度）				
			実績値	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				20,534	26,531	19,872		

(2) 成果及び課題

成果	- 多くの県民が気軽に運動やスポーツに参加できるよう、運動・スポーツの体験教室やクラブ・サークル情報、県内スポーツイベント情報等、充実した内容に改修することができた。 2020年度も多くのアスリートが各種大会で活躍した。岡山県トップアスリート賞は個人20・団体4、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人2を表彰した。
課題	「おかやまスポーツナビ」をより活用していただけるよう、利用者にとって、さらにわかりやすく使いやすいものにするともに、周知方法を工夫していく必要がある。

3 各課における評価

番号	部課名	事務事業の実施内容、成果・課題及び総合評価				
1	スポーツ振興課	事業内容	・多くの県民が気軽に運動やスポーツに参加できるよう、その「場所探し・活動探し」をサポートし、スポーツ活動の場と指導者とのマッチングを図り、スポーツ活動に取り組む人の増加につなげる。 (ホームページ「おかやまスポーツナビ」の運営)			
			・国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めた個人又は団体及び優秀な指導者を顕彰し、本県スポーツの振興に資する。(スポーツ特別顕賞、トップアスリート賞、スポーツマスターズ賞、生涯スポーツ功労者表彰)			
		成果・課題	【成果】 ・「おかやまスポーツナビ」や県ホームページへのスポーツ施設等の掲載を通じて、利用者の利便性の向上やスポーツ施設の活用の促進を図ることができるよう、改修することができた。 ・2020年度も多くのアスリートが各種大会で活躍した。岡山県トップアスリート賞は個人20・団体4、岡山県生涯スポーツ功労者表彰は個人2を表彰した。 【課題】 ・「おかやまスポーツナビ」をより活用していただけるよう、利用者にとって、さらにわかりやすく使いやすいものにするともに、周知方法を工夫していく必要がある。	評価	2018年度	3
					2019年度	4
					2020年度	3
					2021年度	
					2022年度	

4 総合評価

総合評価	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	3.0	4.0	3.0		